

ステークホルダーの皆様へ



日比野 隆司



中田 誠司

クオリティNo.1を確立し、お客様に最も選ばれる 総合証券グループを目指す

2015年度からの3カ年を対象とするグループ中期経営計画「“Passion for the Best” 2017」(以下、中計)は2年目が終了し、当社グループの2016年度連結業績は、純営業収益が4,727億円、経常利益が1,356億円、親会社株主に帰属する純利益が1,040億円となりました。

2016年度は、英国のEU離脱(Brexit)の決定や米国大統領選挙など、全世界に影響を及ぼすイベントにおいて、事前の想定を覆す事態が発生しました。激変する市場環境のなか、国内では個人投資家のリスク回避姿勢が継続し、リテール部門にとっては厳しい状況が続きました。一方、ホールセール部門の債券トレーディングが好調であったことや、海外部門の収益が大きく改善し黒字転換するなど、グループ全体としてバランスの取れた収益構造の構築に取り組んできた成果が現れてきた結果、厳しい環境下でも安定した利益水準を維持できるようになりました。

2016年の年末以降、米国トランプ政権の経済政策への期待感から、グローバルな市場環境は好転を見せ、国内市場にとっても追い風となっています。同じく、為替レートも円安基調へと変化し、日本企業の業績は過去最高の利益水準となりました。さらにジュニアNISA*1の創設やiDeCo*2の制度拡充など、「貯蓄から投資へ」を後押しする政策が次々と実施されています。

こうしたなか、当社グループでは、2017年4月から新たなマネジメント体制となりました。これまで執行役社長 CEOを務めた日比野隆司が取締役会長に、執行役社長 CEOには中田誠司が就任しました。

当社グループは、「企業理念」に定めるとおり、お客様からの信頼こそが当社グループの基盤であるという考えのもと常に行動してきましたが、今後はこの「企業理念」を礎としたお客様目線での業務運営のさらなる徹底を通じて、「クオリティNo. 1」に向けた取組みをさらに進化させていきます。これらの取組みを通じて、お客様に価値あるサービスを提供することによる正当な対価をいただくことが、企業理念にも掲げる「健全な利益の確保」であり、この健全な利益を積み上げることによって当社の企業価値を継続的に高めていきます。ステークホルダーの皆様には、引き続きなお一層のご支援をよろしく申し上げます。

*1 2016年4月から導入された、未成年者少額投資非課税制度の愛称。0歳～19歳の国内居住者が制度対象であり、ジュニアNISA口座で購入した上場株式・公募株式投資信託などから得られる売却益、配当・分配金は、5年間非課税

*2 2017年1月から加入可能者が拡大した、個人型確定拠出年金の愛称。加入者の掛金拠出時、資産運用時、受取時にそれぞれ税制優遇がある

大和証券グループ本社
取締役会長

大和証券グループ本社
執行役社長 CEO

日比野隆司 中田誠司